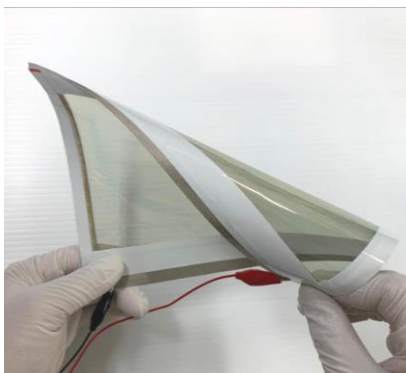


産総研と共同開発のモビリティ向け「調光デバイス」が A-STEP に採択

自動車内装部品の総合メーカーの林テレンプ株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長：林 貴夫）は、国立研究開発法人 産業技術総合研究所（以下、産総研）と共同で行っている、様々なモビリティの窓ガラスやサンバイザー等に応用できる「調光デバイス」の開発において、独立行政法人 科学技術振興機構（JST）の「研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）産学共同（本格型）」に採択され、約3億3,000万円を上限とした助成を受けることが決定しました。

開発する「調光デバイス」は、電圧をかけることで光の透過率を変化させるもので、旅客機や自動車の窓ガラスに使用されています。本デバイスは、エレクトロクロミック方式（以下、EC方式）を採用しており、同種製品の一般的な製造工程で使用する真空装置等の大規模設備を必要とせず、特殊なインクを塗布するだけで成膜できるので、製造の高速化やコスト削減を可能にします。

当社は、A-STEPでの助成を活用し、このデバイスの実用化にむけて開発を加速してまいります。



厚さ約 100 μ m のフィルム状の試作品

将来的にはロール状に連続製膜を目指す



可視光透過率 70%以上



5%未満

⇔

〈A-STEP について〉

今回採択された「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）」は、独立行政法人科学技術振興機構（JST）が実施する、技術移転支援プログラムです。大学・公的研究機関等で生まれた科学技術を実用化することで研究成果の社会還元を目的とします。なかでも「産学共同（本格型）」は、社会的・経済的なインパクトを生み出すようなイノベーションの創出に向けて、産学共同での本格的な研究開発を実施し、社会での実用化に向けた中核技術の構築を目指します。